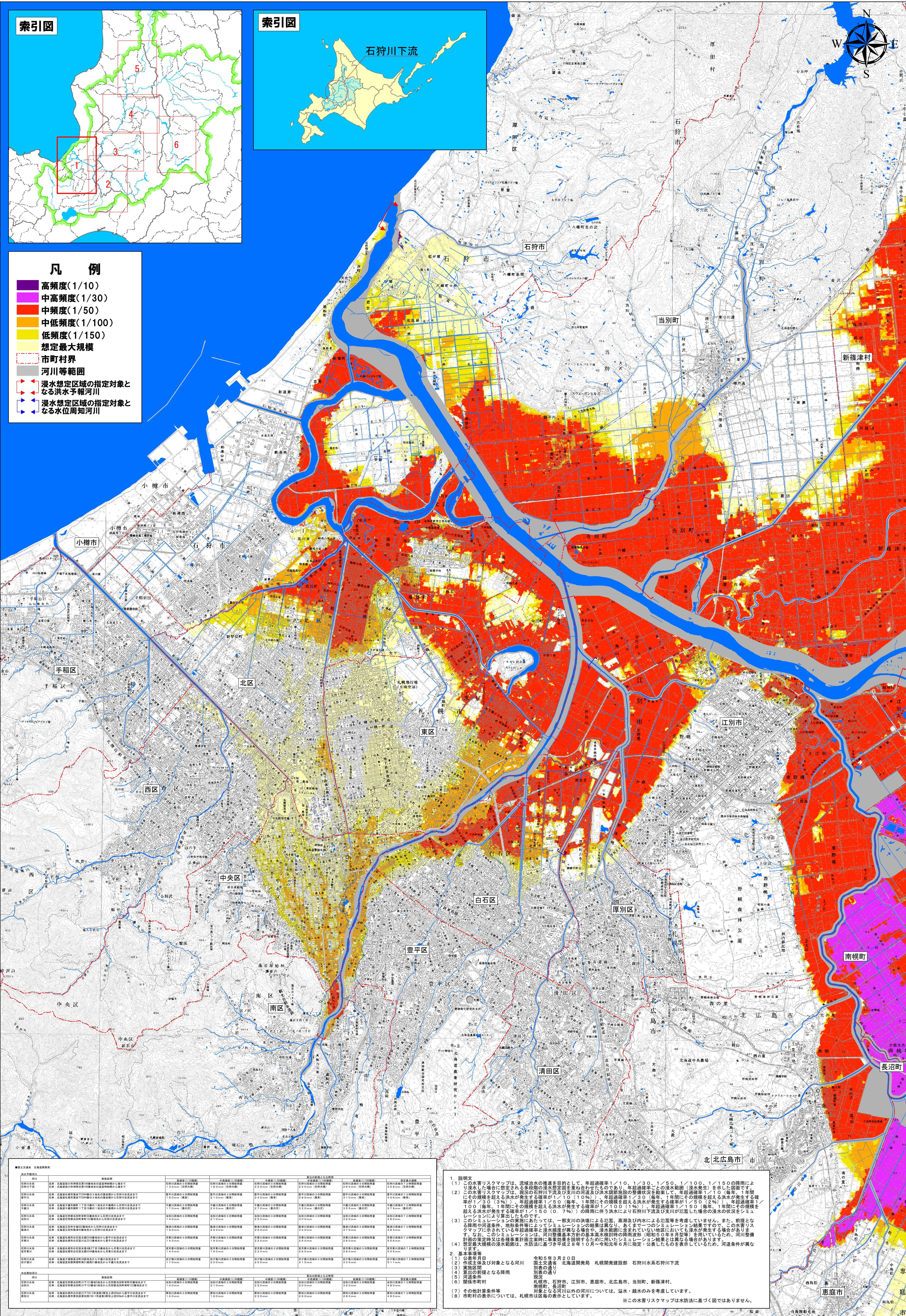


石狩川水系石狩川下流 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】No1

浸水が想定される範囲を表示



1 説明文
(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
(2) この水害リスクマップは、過去の石狩川下流及び支川の河道及び洪水調節施設の整備状況を踏まえて、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)・年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))・年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))・年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))・年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%))の降雨に伴う洪水により石狩川下流及び支川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3) シミュレーションの条件については、一部支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地域においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川庁基本方針の基本高水幅計算時の降雨条件(昭和58年8月豪雨)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき28年10月～令和元年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2 基本事項等
(1) 公表年月日 令和5年3月20日
(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 石狩川水系石狩川下流
(3) 実施期間 別表の通り
(4) 算出の前提となる降雨 現況
(5) 河川条件 札幌市、石狩市、江別市、恵庭市、北広島市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町
(6) 関係市町村 札幌市、石狩市、江別市、恵庭市、北広島市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町
(7) その他計算条件等 対象となる河川以外の河川については、漏水・越水のみを考慮しています。
(8) 市町村の表示については、札幌市は区画の表示としています。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。